

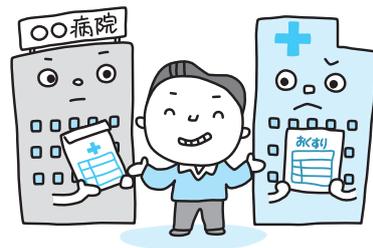
1 かかりつけ医を 持ちましよう

日常的な病気の治療や、医療相談などに応じてもらえるかかりつけ医を持つことは大切です。気になる症状があれば、まずはかかりつけ医を訪ねるようにしましょう。



2 重複受診は やめましよう

同じ疾患で、複数の医療機関にかかる「重複受診」はやめましよう。医療費が増加するばかりではなく、検査や薬の重複などで、体に悪影響を与えてしまう心配があります。



3 ジェネリック医薬品を 活用ましよう

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)と同等の効果で価格が安いというメリットがあります。医師や薬剤師と相談しながら、積極的に活用ましよう。



お医者さんにかかるときの5つのポイント

4 休日・夜間の受診は 控えましよう

休日や夜間に開いている救急医療機関は、緊急性の高い患者さんのためのもので、医療費も高く設定されています。緊急時以外は、平日の時間内に受診することを心がけましよう。



5 薬の飲み合わせに 注意ましよう

薬は飲み合わせによって、副作用が生じる場合があります。「お薬手帳」を利用したり、服用中の薬を医師や薬剤師に伝えるなどして、不要な薬をもらわないようしましよう。



お子さんの急な病気ときは「小児救急電話相談(#8000)」をご利用ください

夜間や休日に、お子さんが急な病気心配になったら、小児救急電話相談を利用することを考えましよう。小児科医や看護師から、お子さんの症状に応じた適切なアドバイスが受けられます。

小児救急電話相談→#8000

※ダイヤル回線、IP電話及び光電話の場合には
TEL 096(364)9999